

令和4年1月31日発行

第 115 号

編 集

山本学区社会福祉協議会

広報委員会

☎874-8218

とまや協社

地域と共に七十五年

広島市立祇園中学校

校長 金村 成 義



地域の皆様方には、平素より、祇園中学校の教育に御理解と御協力を頂き、心

より感謝申し上げます。昨年度、赴任して参りました校長の金村成義と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、どの地域も様々な行事が中止となる中、山本学区社会福祉協議会におかれましては、各行事の自粛や中止を余儀なくされ、また、学校にも足を運んでいただける機会が減り、非常に残念に思っています。一日も早くコロナ感染症が終息し、地域行事が再開され、地域の方々と生徒達が交流し、ふれあい、心からの笑顔が見られることを楽しみにしています。

さて、祇園中学校は、昭和22年に開校し、地域に支えられ地域と共に育ち、今年で創立七十五年目を迎えました。4月に、396名の新入生を迎

え、現在、全校生徒数1188名・36学級となり、今後も更に増え続ける予定の過大規模校です。生徒数増に伴い、昨年度は、校舎の増築、今年度は体育館の新設と工事が続き、現在、グラウンドも約半分になっています。



体育館の新設工事

生徒には不自由な思いをさせていますが、このような条件の中、部活動では、広島市新人大会において、野球部、サッカー部が優勝。陸上部も市の駅伝大会を女子1位、男子2位で突破し、県大会に出場することができました。

また、体育館工事の音を物ともせず、授業に集中する姿勢は素晴らしいものがあります。

「逆境は、人を成長させる」と言いますが、まさにこの現状の中、どう工夫して乗り越えるかを考え、

行動し、生徒達は日々成長しています。

今年度の体育祭は、3年生が祇園中学校のグラウンドで、1・2年生は、広島経済大学の体育館をお借りし、学年ごとのクラスマッチに変更して行いました。日頃の成果を発揮し、機敏な行動、そしてどの競技にも一生懸命取り組み姿にはいつも感心させられます。



学年別クラスマッチ

生徒達が、中学校3年間で身に付けた力を「地域で育った次世代」として地域に恩返しできる日が訪れることを期待しています。

地域とともに歩んできて75年…。これからも地域の方々とふれあいを大切にし、「地域とともにある学校づくり」の実現を目指してまいりますので、保護者・地域の皆様の御支援・お力添えを賜りますようお願いいたします。

新年のごあいさつ

山本学区社会福祉協議会

会長 小堀 昭 男



皆様、あけましておめでとうございます。2021年5月に山本学区社会福祉協議会会長に就任して9か月が経過しました。コロナ禍の中、総会に当たる評議委員会が開催できず、書面決議によるかたちでスタートしました。

総務委員会では毎月、コミュニケーションカレンダーを発行しています。

福祉活動委員会では、『いきいきサロン』『サロン百歳体操』を実施しています。『いきいきサロン』については、7月、10月、11月、12月に実施しました。

今後も、コロナの感染状況を見ながら、開催します。参加者の方たちは、『いきいきサロン』に来ることを楽しみにしておられます。

「久しぶり。元気だった?」「会えてうれしいよ。」「また、元気で会おうね。」と、話をされている様子を見て、『いきいきサロン』の大切さをもいつも実感しています。

ボランティアバンク運営委員会では、山本集会所の耐震工事のため、電話受付を休止しています。車いすの貸し出し業務は行っています。

広報委員会は、広報紙「社協やまもと」114号、115号を発行しています。

福祉のまちづくり委員会では、山本学区内の様々な課題をまとめて質問書を作成し、安佐南区行政に提出しています。行政からの回答書を受け取り、内容を委員会と協議し、問題点を整理し、行政とのやり取りを継続しています。

ICT委員会では、山本学区社会福祉協議会のホームページを作成し、取り組み内容等について、いつでもだれでも見ることができるようになっています。

近隣ミニネットワークづくり推進事業として『安心ネット山本』の取り組みをしています。目的は、気がかりな人の孤立防止、及び変化の早期発見とつながりです。現在登録者数は34人、見守り協力は28人です。広島市祇園・長束地域包括支援センターと連携を図り、見守り協力員さんとの連絡会や研修会を実施しています。

本年度より、山本学区社協の組織体制の充実と活性化を図るため、各委員長と連合自治会長で定例的

に「委員会」を開催し協議していきます。また、オンラインの拡充にも取り組んでいきます。

本年度は、8月に豪雨災害がありました。避難所開設が14日間という長期間になりました。初めての経験であり、戸惑うことが多々ありましたが、自主防災連合会を中心に山本小学校、子育てサークル、ボランティアの方、有志の方、区社協、行政の方の協力により、コロナ感染者を出すこともなく、取り組みことができました。様々な課題が明らかになったので、これらを整理し、山本学区の防災対策を確立していく必要があります。

『いきいきサロン』『サロン百歳体操』『ボランティアバンク』『近隣ミニネット(安心ネット山本の見守り活動)』を中心に、その他、みなさんの意見を聞きながら必要な活動をしていきます。

山本学区内の福祉施設の運営会議、山本幼稚園・山本小学校・祇園中学校との連絡会議、安佐南区と広島市社会福祉協議会との会議、研修会への参加、等々、やるべきことは多くあり、責任もあります。

2022年度も、皆さんと連携しながら、取り組みを進めていきます。

よろしくお願いします。

「サロン百歳体操」の取り組み

福祉活動委員長 小堀 昭 男

2002年、高知市が介護予防のために開発した体操です。『いきいき百歳体操』は、錘(おもり)を使った筋肉運動の体操です。筋力をつけ、いつまでも元気で過ごせる体をつくりたい。

広島市祇園・長束地域包括支援センター(以後、包括センター)と連携しながら毎週水曜日、午前10時から実施しています。2021年3月17日～5月12日、7月14日～8月4日は、山本集会所で実施しました。35人前後の方の参加があり、1階と2階に分かれて、タブレットを使用して実施しました。それ以外はコロナ感染防止のため、タブレットを使用して各家庭内で体操をする取り組みが続いています。今現在、13人くらいの方が参加されています。11月10日からは、丸子集会所でも実施し、17人くらいの方が参加されています。

コロナ禍の中にあっても、「みなさんといっしょに、体を動かして、元気になりたい」という参加者の思いにこたえるために、引き続きこの取り組みを続けていきます。

山本集会所の耐震工事が終了すれば、4月初旬から集会所で実施する予定です。タブレットによる発信も行います。

山本地区子育てサークル

OG 高木理恵

日頃より地域の方々のご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。山本地区子育てサークル「のんたんランドひよこ組」「のんたんランドあひる組」は、入園前の親子が集まり交流を深める場として、各グループは月2回ほど祇園西公民館で活動しています。手遊びや季節をテーマにした工作など、そのときに参加しているお母さんたちでアイデアを出し合い、たくさん笑顔が溢れています。

るお母さんたちの「子育てサークルの良さを他のお母さんたちにも伝えたい！」という思いから、一般親子（サークルに参加していない親子）さんの参加を募りました。6組の募集予定でしたが予想以上に反響があり、10組以上の一般親子さんが参加してくださいました。

さて、毎年10月に開催している「ふれあい運動会」ですが、新型コロナウイルス感染症対策の影響で、昨年も規模を縮小し、10月28日（木）に祇園西公民館の体育館にて「ミニ運動会」として開催いたしました。サークルに参加して



アンパンマン体操、布バルーン遊び、玉入れやかけっこなど、たくさん子どもたちの笑顔を見ることができました。子育てサークルに参加したことがなかったお母さんたちにも、サークルの良さが伝わったのではないのでしょうか。合わせて計30組の親子で、たいへ



今、共働き世帯の増加や、幼児教育・保育の無償化により、安佐南区全体でも子育てサークルへの参加人数は減少傾向にあります。山本地区でも「ママさん・ぞうさん幼稚園」の活動が休止している状況です。しかしながら、コロナ禍の外出自粛によって親の孤立が加速していることが懸念される今、少しでもたくさんのお母さんたちに「子育てサークル」という場があるんだということを知らせてもらえたらいいなと思っています。子どもたちのたくさん笑顔のため



ん賑やかな運動会となりました。

とんど焼き

2年ぶりに開催

とんど焼き実行委員長

谷口正行

令和4年1月10日（成人の日）に山本地区の各種団体、近隣の自治会、NPO法人里山環境保全みどり会のみなさんのご協力で開催することができました。

昨日は、例年行っている餅つきや、汁粉・お酒の販売は自粛し、火を焚くだけのとんどでしたが、参加者300名で、正月飾りや書き初め等を焚き、無病息災、五穀豊穡を願いました。

小正月の伝統行事が、来年こそは盛大に出来ることを祈念しました。



2年ぶりのとんど焼き

豪雨土砂災害の総括

山本学区自主防災会連合会

2021年8月

8月11日から停滞した前線による記録的な大雨で、山本地区では3か所の谷で土石流が発生しました。幸いにして人的被害はありませんでしたが、住宅・農地などに土砂が流入し大きな被害を受けました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

広島県で最も多い雨量を記録

春日野団地北側に設置された雨量計によると、最大雨量は12日9時の31mm/hで、平成26年8月豪雨の55mm/hに比べて、それほどひどい雨ではありません。しかし、12日～25日の積算雨量は793mmで、広島県内で一番の雨量を記録しました。

土石流の発生と被害の状況

大雨警報による避難指示が出されているさなか、14日の午前10時半頃、九丁目東山本川上流で土石流が発生。その2時間後には六丁目西山本川上流で山の斜面が崩れ流出した土砂や流木が川沿いの住宅や農地に流れ込み被害を大きく

しました(丸山は被害なし)。



六丁目2か所で土石流が発生
写真右側が西山本川上流



西山本川周辺の住宅

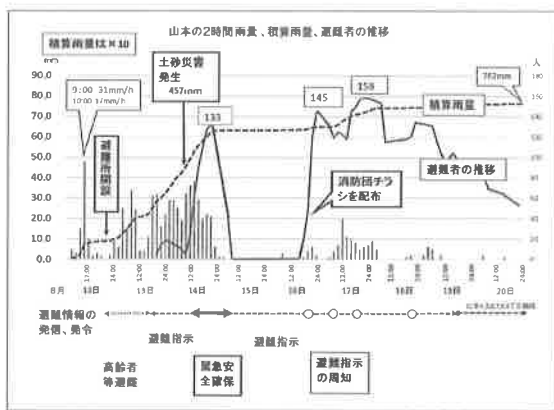
避難所に待機していた私たちが土石流の発生を知ったのは「ドン」という音がして、前を流れる川の色が変わって恐ろしくなりました。泥水が道路に溢れ通れないところがあった」という人が避難してこられた時です。土砂による被害は、随所で発生。西山本川上流では川

避難所に待機して

沿いの7世帯(山本新町一丁目の2世帯)と集合住宅2棟および農地や墓地で、東山本川上流も住宅2世帯と農地が被害を受けました。

避難情報データから言えること

土石流発生後の14日午後から山本小学校へ避難する人が増え、夜には100名を超える人たちが来られました。さらに、16日には、二次災害の危険がある区域を特定してチラシが配布されたため、避難者が増加し夜には最大158名に達しました。



右のグラフは、山本の雨量、積算雨量、避難者数の推移を示したものです。これから言えることは、避難指示が出ているにもかかわらず

ず、行動を起こすタイミングの難しさです。14日は土砂災害が発生し、その危険を認知しての自主避難、16、17日は重点的に避難を呼びかけた結果による、危険性を共有しての避難だと思われます。

土石流災害が発生した14日10時頃までの積算雨量は457mmに達しており、今回の雨では少なくとも400mmまでに避難を終えておくべきと推測されます。

コロナ禍の中で避難所を開設

8月12日から開設した避難所では、コロナ対策を重視して、パーティションを挟んでの受付、マスク着用の確認、検温、問診を行いました。換気は体育館の2階の窓を開けました。

災害発生後は、避難者も増え生活避難所として支援物資が届くよ



3密対策の避難所



消防学校の学生ボランティアによる土砂の撤去作業

うになりました。最大158人の方が避難された時は、体育館だけでは収容しきれず、2階和室、別棟教室を使用しました。また、開設が長期に及んだため、食糧を始めテレビや携帯電話の充電器、健康飲料などが用意され、施設の維持では、トイレの清掃などボランティアの方の助けを借りました。小学校が丁度夏休みだったことと、校長先生、教職員の方々の協力により、スムーズに運営できたことが何よりだったと思います。

■ボランティアに復旧支援を要請
災害発生直後から自治会の大勢の人たちが土砂や瓦礫の撤去作業を手伝いましたが、埋め尽くした土砂の量は膨大で、到底住民パワーだけではかなわず、山本社協経由で安佐南区社会福祉協議会にボラ

■復旧工事と砂防堰堤の建設計画
災害直後から、国あるいは県、市によって大量に堆積した土砂や流木および巨大な岩などの撤去作業が始まりました。六丁目から己斐方面に向かう林道が陥没し通行止めになりましたが、広島市の早

ンティアの派遣を要請しました。早速、畑組丸子集会所にボランティアセンターを開設され、必要な物資、機材などが届いて、22日からここを拠点に支援活動が始まりました。派遣されたボランティアは、広島経済大学の学生さんから一般の方、また広島市消防学校の学生さん約100名が2日に分けて参加して下さり、それぞれに住宅敷地内に入った土砂や瓦礫などの撤去作業をしていただきました。また、土砂が入った住宅については清掃や消毒さらには保健師、弁護士などによる訪問無料相談を、また広島市下水道局河川防災課には、瓦礫まじりの土砂や災害ごみなどの搬出処分をはじめ、重機による土砂の撤去などのサポートをしていただきました。多くの方々から支援いただいたことについて、被災された方からは口ぐちに「ありがたい、助かった」との感謝の言葉を聴きました。



緊急対策工事の配置図(国交省提供)

い対応で工事が進み約1か月で通行できるようになりました。六丁目の谷で土石流が発生した西山本川上流および丸山渓流地には土砂による二次災害を防止するためのワイヤーセンサーが設置され、また土石捕捉用の防護ネットも西山本川上流に設置され、もう1か所も年内には完成の予定です。東山本川上流の既設の砂防堰堤に堆積した土砂および壊れた護岸などは急ピッチで改修が進められています。今回、土石流が発生した谷には新たに砂防堰堤が建設される計画があり、国交省が管轄する西山本川上流および丸山渓流では、建設予定地の調査・測量が行われています。広島県が管轄する東山本川上流においても砂防堰堤建設の計画が進められています。

■今後の防災について
今回、人的被害が無かったのは不幸中の幸いでした。土石流は、既設の砂防堰堤を乗り越えて東山本川では新堤(農業用溜池)が、西山本川では橋に引っかけた流木が堰堤の役割をし、その勢いにブレーキをかけたため、被害が最小に食い止められました。砂防堰堤などのハード面での対策にはまだ時間がかかります。今回のように土石流を目の当たりにすると誰でもが避難します。チラシなどで危険を共有すると皆で避難できます。土砂災害を引き起こす雨。幸いにも山本には「祇園山本」の雨量観測点が身近にあります。そのデータはパソコン、スマホで簡単に見ることが出来ます。左記より社協のホームページにアクセスしてみてください。自分が住んでいる場所の危険度を知らため「祇園山本」の雨量データを検索し、命を守る早めの避難行動を起こし、幸いでもらえます。

社協のHPはこちらから
URL
<https://www.com-net2.city.hiroshima.jp/yamamoto/index.php>
QRコード 

山本学区社会福祉協議会
組織図について

山本学区社会福祉協議会

会長 小堀 昭男

山本学区社会福祉協議会の組織と構成団体、連携をしていく組織を一覧にし掲載しています。

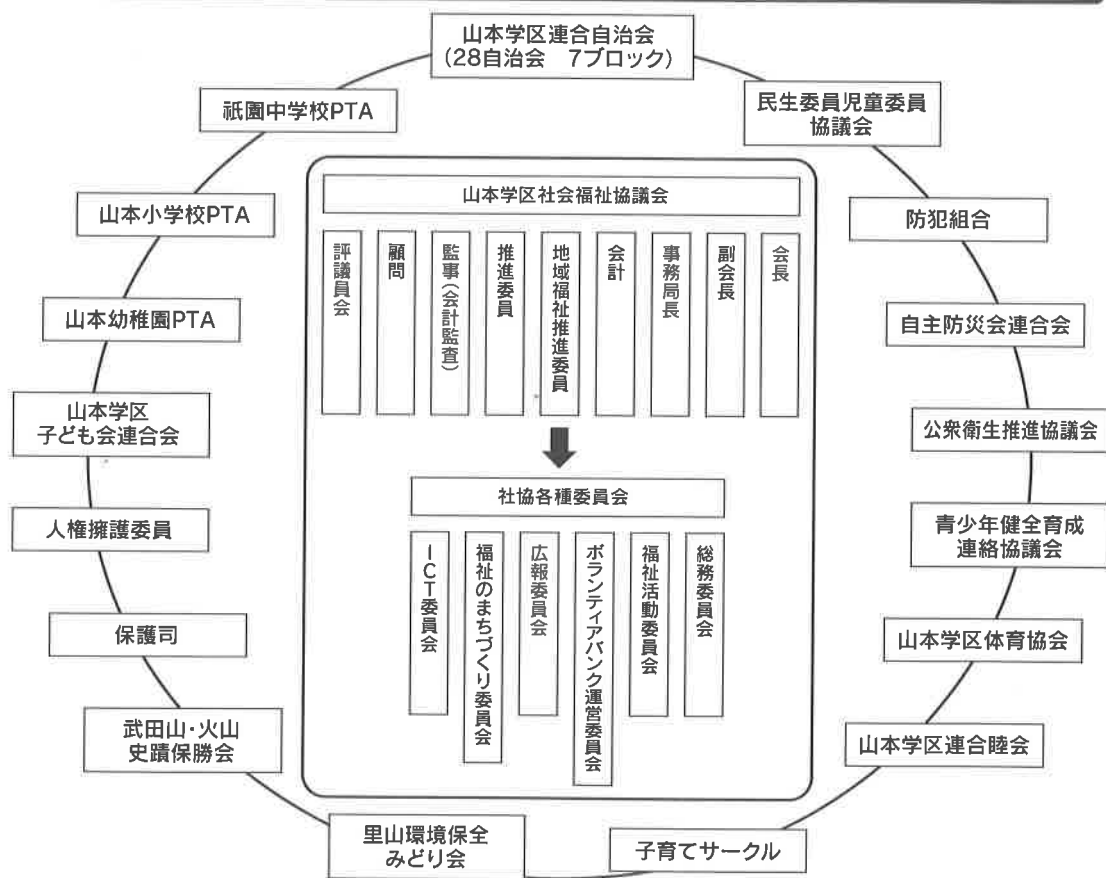
女性会が解散しました。連合自治会内の組織であった防犯組合、自主防災連合会がそれぞれ分離独立し、構成団体として位置づくことになりました。「防犯」「防災」に関する取り組みは、山本学区全域を対象にして進めていく必要がありますからです。

山本学区社会福祉協議会の規約にある構成団体は12になります。

それ以外の、子育てサークル、里山環境保全みどり会、武田山・火山史蹟保勝会、保護司、人権擁護委員は、必要に応じて連携をとらせてもらう組織として掲載しています。それぞれの組織の活動内容は、それぞれの組織が発行する広報紙を見ていただくことや、直接、責任者に問い合わせること等で確認していただきたいと思います。

ここに掲載している様々な組織

山本学区社会福祉協議会組織図(社協組織と構成団体及び構成員の位置づけ)



は、山本学区住民の安全・安心を確保し、生活の質を向上させるためのものであります。組織を運営するもの、住民の方、それぞれお互いを尊重し合い、連携を深めながら、日々の活動を続けていきたいと思います。これらの積み重ねの中で養われる仲間意識や人間関係の深まりが、「自主防災」「自主防犯」の活動に役立つと思っております。

山本集会所

山本集会所の耐震工事が3月中旬をもって終了いたします。

皆様には長い間ご不便をおかけしましたが、4月初旬には再開したいと思っています。

これまで同様ふるってご利用をお待ちしております。

ボランティアバンクも同様に受付を開始いたします。

再開日時が決まりました、ご連絡いたします。

寄付

山本小 熟年同窓会様

ご厚志に対し、心よりお礼申し上げます。福祉活動のために有意義に活用させていただきます。

表彰おめでとうございます

広島市社会福祉協議会

- 会長表彰 西岡 喜佐夫
- 会長表彰 大西 克廣